



子供の良さを支える取組

校長 小林 理人

校庭の紫陽花が紫色やピンク色に色付き始めました。早いもので1学期も半ばを過ぎ、紫陽花が映える雨の季節が近づいています。個人面談ではお子様の成長や頑張っていることをお伝えしたり、ご家庭での様子を伺ったりすることで保護者の皆様との絆を深めることができました。



少し前の話になりますが、5月6日(金)に離任式がありました。離任式には3月末で二小を離れた教職員を迎えて、子供たちがお世話になったことへの感謝の気持ちや新しい学年になった決意を手紙にまとめて伝えました。また、二小を離れた先生からは子供たちへの激励や子供たちとの思い出など心温まる話がありました。感染症対策によりオンラインでの開催となりましたが温かい気持ちが伝わりあう二小らしい素敵な式になりました。

離任された先生方からの話はどれも心に残る嬉しい内容でした。それは、二小の子供たちの良さに関わる話です。先生方は離れて改めて感じた二小の子供たちの良さを語り、子供たちや私たちを褒めてくれました。その内容は以下のようなことでした。

気持ちの良いあいさつ

二小の児童の皆さんの挨拶は素晴らしいです。「おはようございます。」「ありがとうございます。」「とどの学年の皆さんも元気よく挨拶をしてくれます。皆さんの気持ちの良い挨拶が私たちを元気にしてくれました。

自分たちの力で学校や学級をより良くしようとしている

二小の子供たちは二小をより良い学校にするために、子供が自ら考え、進んで行動をしています。高学年がお手本になったり、低学年に優しく教えたりしています。そして、そのことが伝統として受け継がれ、二小の大きな力になっています。

「チーム二小」力を合わせてみんなで行う

これは児童の皆さんだけではなく、先生方や地域、保護者の皆様にもいえることです。二小の子供たちや先生方、そして、地域の方や保護者の皆様は困っていると温かい言葉をかけてくれたり助けてくれたりします。また、目標を決めて力を合わせて行うことがたくさんありました。二小はみんなが一つのチームになって様々なことを行うことができる素敵な学校です。

二小を離れた先生方からの話を聞きながら、私も改めて二小の子供たちの良さを感じ嬉しく思います。そして、この良さをこれからも大切にしたいと思いました。

本校では各学期の半ばとなる6月、11月、2月をふれあい月間として活動の振り返りや子供たちの心の状態や人間関係の様子について把握し、必要な指導や支援を行っています。6月のふれあい月間では、先日行った学校満足度調査の結果やいじめ防止のために行うアンケート調査の結果をもとに私たちの取組の振り返りを行います。また、困ったり悩んだりしている子供の声を聴いて解決方法を一緒に考えたり手助けしたりして不安や不満の解消につなげていきます。そして、二小の子供たちの良さを原動力になっている気持ちの良いあいさつやふわふわ言葉についても全校で取組み、みんなが気持ちよく生活できる学校をめざしていきます。